

# 世界史 授業 No.87 テーマQ.&A.プリント

## 1. 今日のテーマ・クエスチョン

ウェストファリア条約で『ドイツ』はどうなったか？

## 2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 137）の中から見つけよう！

神聖ローマ帝国内に大小の領邦が分立していたドイツでは、主権国家の形成がおくれていた。1618年、( 1 ) (ボヘミア)の新教徒が、ハプスブルク家によるカトリック信仰の強制に反抗したのをきっかけに、三十年戦争はおこった。スペインは旧教側のハプスブルク家の皇帝を支援し、新教国のデンマークや( 2 )はこれとたたかった。しかし、旧教国( 3 )は新教勢力と同盟して皇帝とたたかいはじめるなど、戦争は宗教的対立をこえたハプスブルク家対フランス王家の戦いでもあった。

三十年戦争は1648年のウェストファリア条約で終結したが、大半のヨーロッパ諸国が参加した国際会議で条約がまとめられたことは、ヨーロッパの( 4 )体制の確立を示すものであった。しかし、長年戦場となって人口も激減したドイツの分立状態は決定的となった。また、(2)は北ドイツの沿岸に領土をえて、バルト海を内海とする「バルト帝国」を成立させた。さらに、スイスと( 5 )は独立を正式に認められた。

### <記入欄>

- 1 ( ) 2 ( ) 3 ( )  
4 ( ) 5 ( )

## 3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ウェストファリア条約で『ドイツ』はどうなったか？」

T. A.

1618～48年に戦われた、宗教戦争の総決算であり国際戦争ともいえるドイツ〔① 〕戦争の講和条約がウェストファリア条約。それによってドイツは、国内の領邦国家に完全な〔② 〕を認め、「ドイツ」を意味した神聖ローマ帝国は〔③ 〕化。ヨーロッパの国境は現在のものにさらに近づき、〔④ 〕とオランダの独立が国際承認され、アルザス・〔⑤ 〕地方がフランス領になった。

### <記入欄>

- ① [ ] ② [ ] ③ [ ]  
④ [ ] ⑤ [ ]

[ ] 年 [ ] H No. [ ] 氏名 [ ]